

家畜体内受精卵移植講習会の開催

この講習会は、家畜人工授精師が受精卵移植業務を行う資格を得るためのもので、今回は2名の家畜人工授精師が受講し、7月3日から10日間にわたり当センターと碓高原牧場で受精卵の検査や受卵牛の卵巣検査などの実習を行いました。

受講者は、修業試験に合格後、受精卵移植による牛の改良や増殖を担う後継者として、活躍が大いに期待されます。



受卵牛の子宮内へ移植器を挿入する受講生